



「サステナビリティ経営方針」を定めたよねざわ工業の工場働く従業員。リサイクル資源や道産原料の活用など、持続可能な社会実現に向けた経営を掲げている

SDGs経営方針策定

恵庭よねざわ工業 CO2削減図る

【恵庭】市内のコンクリートブロック製造のよねざわ工業(戸磯)は、国連が提唱する持続可能な開発目標(SDGs)を進めるた

働きやすい職場環境づくりや、自然保護を意識した製品作りなどを定めている。コンクリートメーカーはセメントの製造時に大量の二酸化炭素(CO2)を排出するため、業界全体で脱炭素に向けた取り組みを進めている。同社は環境保護や従業員の意欲向上を目指し、SDGsを意識した経営方針を新しく策定することを決めた。

一方、北洋銀行は昨年、恵庭市と脱炭素社会の実現に向けた連携協定を締結。市は2050年までにCO2排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指しており、同銀行は市内事業者の温室効果ガス排出データの分析や、SDGsに取り組み市内企業へ経営コンサルティングを行うなどして協力している。

同社は同銀行の子会社のコンサル業「北海道共創パートナーズ」(札幌)と協



▷ニュース・話題は
千歳支局

23・2345 FAX 24・4474
千歳市東雲町2の15

chitose@hokkaido-np.co.jp
▷購読は道新販売所へ

千歳西部(吉永)	23・2795
千歳東部(紺野)	23・2796
島松(内山)	36・8153
恵庭西部(佐藤)	33・1855
恵庭東部(尾谷)	32・5313

議を重ね、2月に経営方針を策定。経営理念や経営計画と並ぶ概念として「サステナビリティ経営方針」を定め、従業員が生き生きと働ける職場環境づくりを最重要課題とし、リサイクル資源の活用と開発、道産原材料の使用によるCO2排出の抑制などを盛り込んでいる。

同社の米沢悟社長(45)は「私たちの取り組みや考え方が他の企業や団体にも広がり、地域全体に良い影響を与えられればいい」と話す。(伊藤凱)